

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 29 年 10 月 19 日 (2017.10.19)

【公開番号】特開 2016-157088 (P2016-157088A)  
 【公開日】平成 28 年 9 月 1 日 (2016.9.1)  
 【年通号数】公開・登録公報 2016-052  
 【出願番号】特願 2015-36705 (P2015-36705)  
 【国際特許分類】

G 1 0 K 15/04 (2006.01)

G 1 0 K 15/02 (2006.01)

G 1 0 L 13/00 (2006.01)

【F I】

G 1 0 K 15/04 3 0 2 D

G 1 0 K 15/02

G 1 0 L 13/00 1 0 0 Y

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 9 月 7 日 (2017.9.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

サーバと、端末装置とを備える楽曲再生システムであって、  
 前記サーバは、  
 楽曲の歌詞データを取得する取得手段と、  
 前記歌詞データを前記端末装置へ送信する送信手段と、を備え、  
 前記端末装置は、  
 再生すべき楽曲である再生楽曲を選択するための入力手段と、  
 選択された再生楽曲の楽曲データを取得する楽曲データ取得手段と、  
 選択された再生楽曲を指定する情報を前記サーバに送信し、当該再生楽曲に対応する歌詞データを前記サーバから受信する第 1 の通信手段と、  
 前記歌詞データに基づいて、歌詞音声データを生成する歌詞音声データ生成手段と、  
 前記楽曲中の歌詞部分に先行するように、前記歌詞音声データを前記楽曲データに加算して歌詞音声付楽曲データを生成する歌詞音声付楽曲データ生成手段と、  
 前記歌詞音声付楽曲データを音声再生装置に送信する第 2 の通信手段と、  
 を備えることを特徴とする楽曲再生システム。

【請求項 2】

前記楽曲データ取得手段は、前記サーバから前記楽曲データを取得することを特徴とする請求項 1 に記載の楽曲再生システム。

【請求項 3】

再生すべき楽曲である再生楽曲を選択するための入力手段と、  
 選択された再生楽曲の楽曲データと、前記選択された再生楽曲に対応する歌詞データと  
 を取得する取得手段と、  
 前記歌詞データに基づいて、歌詞音声データを生成する歌詞音声データ生成手段と、  
 前記楽曲中の歌詞部分に先行するように、前記歌詞音声データを前記楽曲データに加算して歌詞音声付楽曲データを生成する歌詞音声付楽曲データ生成手段と、

前記歌詞音声付楽曲データを音声再生装置に送信する通信手段と、  
を備えることを特徴とする端末装置。

【請求項 4】

端末装置によって実行される楽曲データ提供方法であって、  
再生すべき楽曲である再生楽曲を選択するための入力工程と、  
選択された再生楽曲の楽曲データと、前記選択された再生楽曲に対応する歌詞データと  
を取得する取得工程と、  
前記歌詞データに基づいて、歌詞音声データを生成する歌詞音声データ生成工程と、  
前記楽曲中の歌詞部分に先行するように、前記歌詞音声データを前記楽曲データに加算  
して歌詞音声付楽曲データを生成する歌詞音声付楽曲データ生成工程と、  
前記歌詞音声付楽曲データを音声再生装置に送信する通信工程と、  
を備えることを特徴とする楽曲データ提供方法。

【請求項 5】

コンピュータを備える端末装置によって実行されるプログラムであって、  
再生すべき楽曲である再生楽曲を選択するための入力手段、  
選択された再生楽曲の楽曲データと、前記選択された再生楽曲に対応する歌詞データと  
を取得する取得手段、  
前記歌詞データに基づいて、歌詞音声データを生成する歌詞音声データ生成手段、  
前記楽曲中の歌詞部分に先行するように、前記歌詞音声データを前記楽曲データに加算  
して歌詞音声付楽曲データを生成する歌詞音声付楽曲データ生成手段、  
前記歌詞音声付楽曲データを音声再生装置に送信する通信手段、  
として前記コンピュータを機能させることを特徴とするプログラム。

【請求項 6】

請求項 5 に記載のプログラムを記憶したことを特徴とする記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項 3 に記載の発明は、端末装置であって、再生すべき楽曲である再生楽曲を選択  
するための入力手段と、選択された再生楽曲の楽曲データと、前記選択された再生楽曲に対  
応する歌詞データとを取得する取得手段と、前記歌詞データに基づいて、歌詞音声デー  
タを生成する歌詞音声データ生成手段と、前記楽曲中の歌詞部分に先行するように、前記歌  
詞音声データを前記楽曲データに加算して歌詞音声付楽曲データを生成する歌詞音声付楽  
曲データ生成手段と、前記歌詞音声付楽曲データを音声再生装置に送信する通信手段と、  
を備えることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項 4 に記載の発明は、端末装置によって実行される楽曲データ提供方法であって、  
再生すべき楽曲である再生楽曲を選択するための入力工程と、選択された再生楽曲の楽曲  
データと、前記選択された再生楽曲に対応する歌詞データとを取得する取得工程と、前記  
歌詞データに基づいて、歌詞音声データを生成する歌詞音声データ生成工程と、前記楽曲  
中の歌詞部分に先行するように、前記歌詞音声データを前記楽曲データに加算して歌詞音  
声付楽曲データを生成する歌詞音声付楽曲データ生成工程と、前記歌詞音声付楽曲デー  
タを音声再生装置に送信する通信工程と、を備えることを特徴とする。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

請求項５に記載の発明は、コンピュータを備える端末装置によって実行されるプログラムであって、再生すべき楽曲である再生楽曲を選択するための入力手段、選択された再生楽曲の楽曲データと、前記選択された再生楽曲に対応する歌詞データとを取得する取得手段、前記歌詞データに基づいて、歌詞音声データを生成する歌詞音声データ生成手段、前記楽曲中の歌詞部分に先行するように、前記歌詞音声データを前記楽曲データに加算して歌詞音声付楽曲データを生成する歌詞音声付楽曲データ生成手段、前記歌詞音声付楽曲データを音声再生装置に送信する通信手段、として前記コンピュータを機能させることを特徴とする。